

# 受賞者<<京都市>>

## <人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指す京都市>

- ・平成 22 年 1 月交通マスタープラン「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、「既存公共交通」の取組、「まちづくり」の取組、「ライフスタイル」の取組を 3 つの柱とし、これに基づく 88 の実施プロジェクトを推進
- ・京都に関わるすべての人の行動規範として、全国ではじめて「歩くまち・京都」憲章を制定

### 1. 「歩くまち・京都」の取組

京都市では、健康、環境、観光などの幅広い観点から、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指して、平成 22 年 1 月に、「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定するとともに、「歩くまち・京都」憲章を制定いたしました。

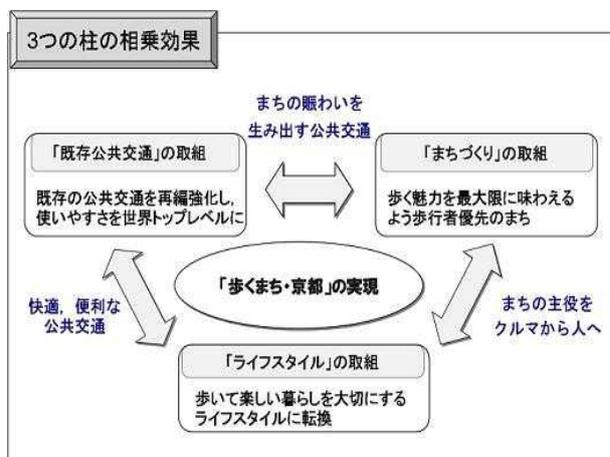
戦略では、自動車利用の制限を含めた様々な抑制策等を通じて、持続可能な脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指して、世界トップレベルの使いやすい公共交通を構築し、歩く魅力にあふれるまちをつくり、一人ひとりが歩く暮らし(ライフスタイル)を大切にするることによって「歩くまち・京都」を実現することを目標像としております。

### 2. 「歩くまち・京都」総合交通戦略の 3 つの柱

戦略の数値目標は、非自動車分担率を現在の約 72%から、80%以上にすることです。その目標達成のため、既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする「既存公共交通」の取組、歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちをつくる「まちづくり」の取組、歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルに転換する「ライフスタイル」の取組を戦略の 3 つの柱とし、これに基づく 88 の実施プロジェクトを掲げ、相乗効果を創出するように、互いを連携させながら強力に推進しております。



「歩くまち・京都」総合交通戦略リーフレット



### 3. 既に始まっている「歩くまち・京都」

「既存公共交通」の取組としては、地下鉄・バスの利便性向上に向けたダイヤ改善や、京都の鉄道・バスのネットワークを活かした市内共通乗車券「京都フリーパス」の創設、京都駅南口駅前広場の整備計画の発表などがございます。

「まちづくり」の取組としては、戦略のシンボルプロジェクトである東大路通の自動車抑制と歩道拡幅、四条通の歩道拡幅と公共交通優先化の着実な実施を目指し、地域住民の皆様や関係機関と検討を行っております。この他、広域的なパークアンドライドの展開や、新たな駐車施設整備を抑制し、既存駐車施設を有効活用する「京都市駐車場条例」を平成23年度に施行いたしました。

「ライフスタイル」の取組としては、ポスター掲示や憲章のアナウンスや放映などを通じた「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発活動や、市民、転入者、小学生など幅広く重層的・複合的に、ライフスタイルの転換を呼び掛ける「スローライフ京都」大作戦を強力に推進しております。



京 都 市

京都市長 門川 大作

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る  
上本能寺前町 488

電話 075-222-3111

京都市の人口等(平成23年7月1日)

総人口 1,473,957 人

世帯数 686,582 世帯

面積 827.90 km<sup>2</sup>

## 「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとり、

**1 健康で、人と環境にやさしい、  
歩いて楽しい暮らしを大切にします。**

そして、市民と行政が一体となって、

**1 だれもが歩いて出かけたくなる  
道路空間と公共交通を整え、  
賑わいあるまちを創ります。**

**1 京都を訪れるすべての人が、  
歩く魅力を満喫できるようにします。**



この憲章は、市民委員、大学の専門家や有識者、事業者、行政が参画する審議会や検討部会、400人の市民の皆様が集まったシンポジウム、そして、14,700人を対象としたアンケート等を通じて市民の皆様と共に議論を重ねることにより作成されたものです。